

吉田俊栄の独り言 その3

8月9日 はれのち雨

圓久寺でお盆法要の日です。毎年のことながら、最も暑さの厳しい頃です。客殿、本堂にはクーラーがありませんのでそれこそ灼熱地獄。お参りの皆さんも、我々お坊さんも汗だくのひとときです。堂内に入りきれずに過ごされた方々、厳しい暑さに体調を崩されながらもお参りされた方、お参りが叶わずに供養料を届けられた方々、実に沢山の方の「想い」が込められた法要でありました。1年に1度、お会いする方もいます。暑いなか、遠方からこの法要に来られた皆様のご精進に、私のところは言葉に言い尽くせない感動に満たされています。皆様の「想い」は必ずや天に届いています。

9月25日 くもり

横須賀に原子力空母が入港しました。また、中国では有人ロケットを打ち上げました。どちらの国も、「おいらの国は強いのだ」と宣伝しています。まるでガキ大将同士の力比べと変わりませんね。どちらも自分のお尻に火が付いているのに、虚勢をはって強がっているように見えます。どちらの大将も一人では「ただの人」ですが、集団のなかにいると自分が強くなり、すべてを思うがままにできると錯覚してしまうのでしょうか。私たちも社会集団のなかにはいます。1歩あやまると「自分」を見失ってしまいます。周りの価値観に流されてついつい見栄を張ってしまったり、偏見にとらわれたりしがちですね。「自分は、自分」でいいじゃないか、でいきましょう。「世間体」というものは存在しません。価値観はすべて自分が決めるものです。

月 日 晴れ

前回お伝えしました「吉田俊栄・メタボ撲滅運動」の経過報告です。7月、8月は忙しくてなかなか汗をかけませんでした。少しずつ効果がでてきました。ズボンがゆるくなり、ベルトが必要になってきました(笑み)ぷよんぷよんしていたタヌキ腹が「少しぷるん」です。ひとつ残念なことに気がつきました。皆さんと会うときは法衣ですので「成果」をお見せできない、ということです。

男性の平均寿命も70歳後半になり、私も順調にいけば残り30年は生きるわけです。折り返し地点で黄色信号が点滅しているわけで、このままいくと赤信号がずっと手前で点滅してしまいます。成人病を抱えて病院と長いお付き合いしていくのも楽しくないし、食事療法などで食べたいものも眺めるだけ、というのもつらいしなあ、と思います。「健康なところと体で最期を迎える」ことを目標に続けていきたいですね。折り返し地点を過ぎた皆さん、運動していい汗かいて、おいしいごはんを食べましょう。元気でいられることこそ幸福の基本ですから。

